

編集後記

一年が過ぎるのは早い。人生には、必要なものが3つあるという人がいる。「何かすべきこと」、「何か楽しみなこと」、「そして愛すべき人」。

「何かすべきこと」

英語でプロジェクトというものか。プロフィット（利益）、見込み（プロスペクト）、プログラム（計画）、プロダクション（生産）、プログレス（前進）プロシード（進める）など、関連語にはみな、プロ（前に、先に）が付く。

「何か楽しみなこと」

英語に look forward to ～ ing という表現がある。これから先のことを待つ気持ちである。

「愛すべき人」

自分の気持ちがその人に向かうこと。人生を前向きの前傾姿勢でがんばろうとする。

学校教育に必要なものも、この3要素があてはまるのではないだろうか。ただ、愛する生徒に対していつも前傾姿勢で頑張れるというものでもない。風が強くて後傾姿勢になるときもある。休みたいときもある。人には力強く前進できない時がある。そんな時があったかもしれないが、それでもあなたの周りにはあなたを支えてくれた人がきつといたはずだ。あなたは一人でがんばってきたのではない。教育は共にあるものである。

この2014年度機関誌 Vol. 5もあなたを支えるもののひとつであればと願う。本号の実践記録・実践紹介を投稿いただいた三仙真也先生、泉美穂先生、堀尾美央先生の教員仲間を支えようとするお気持ちにお礼申し上げたい。本学教職課程は、学校現場の皆さんの支援に勤しみ、明日の教育を考える教育機関としての役割を担うようこれからも着実な歩みを進めてゆく所存である。

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学

教員養成センター

教員： 中井 弘一、東條 加寿子、中垣 芳隆、夫 明美

事務局： 浅田 晋太郎、田中 礼子



大阪女学院大学 教員養成センター・ロゴマーク

本学（Osaka Jogakuin University）の教員養成センターのロゴマークは、OJUの3つの頭文字を使い、チューバのような大きな楽器ですべてのメロディーのベースとなる音をリズムカルにかつ重厚に奏でているイメージをモチーフにしております。心に響く教育の基盤を築きあげたいとの思いから作成したものです。教員養成センターも Teacher Development Support Centerとして学校現場の先生とともに明日の教育を担っていきます。

大阪女学院大学 教職課程機関誌

OJU 教職活動報告・研究 Vol. 5

2015（平成27）年3月6日発行

編集責任者 中井 弘一（教員養成センター長）

発行 大阪女学院大学・大阪女学院短期大学 教員養成センター

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26番54号

電話 06-6761-9371 F A X 06-6761-9373

印刷 (有)ぷりんと工房ヒロノ

〒581-0866 大阪府大阪市天王寺区味原本町4-8（出口ビル2F）

電話 06-6766-5518 F A X 06-6766-5513